

介護福祉士修学資金等貸付事業にかかる継続的・安定的な支援について

【担当省庁】厚生労働省



令和6年度補正予算において、令和6年度の介護福祉士修学資金等貸付事業の貸付原資積み増しに必要な「生活困窮者就労準備支援事業費等補助金」を本県へ配分いただき、厚く御礼申し上げます。

1. 奈良県の介護人材確保の状況

本県の介護関係職種の有効求人倍率は**全国平均を上回る高い水準であり(R5:本県4.40倍、全国4.07倍)**、依然として人手不足感が強い状態が継続している。

令和8年度の推計不足数は約5,000人に達すると見込まれ、**今後さらに進展する介護人材不足に対応するため、人材確保の取組強化が必要である。**

○介護人材の需給推計

需要見込	供給見込	不足数
30,907人	25,635人	▲5,272人

(第9期奈良県介護保険事業支援計画より)

2. 介護福祉士修学資金等貸付事業について

本県における貸付対象者のうち9割が外国人留学生であり、今後も**留学生を受け入れる介護福祉士養成校の新設、既設校の定員増加が相次いで予定**されているため、**貸付希望者が急増**すると見込まれる。

介護人材不足が深刻な本県において、外国人材の確保に向けた取組の強化は非常に重要であり、**本事業の実施に必要な原資を確保し、安定した制度運用を図ることが不可欠**である。

○県内介護福祉士養成校の定員増加及び新規貸付人数の見込み

	R7	R8	R9	R10	R11	R12
学校数(力所)	3	5	5	5	5	5
定員数(人)	145	225	265	265	345	395
新規貸付人数(人)	99	165	205	205	285	335
うち留学生数(人)	92	155	195	195	275	325

(各年度4月1日時点)

3. 所要額見込

(金額単位：千円)

		R6(実績)	R7	R8	R9
介護福祉士 修学資金	新規貸付人数	52	99	165	205
	当年度入学生(1学年次) 新規貸付決定分	※R5交付済 43,680	※R6交付済 83,160	※R7交付要望 138,600	※R8交付要望 172,200
	前年度入学生(2学年次) 継続貸付決定分	※R5交付済 49,752	※R6交付済 43,680	※R7交付要望 83,160	※R8交付要望 138,600
	合計	93,432	126,840	221,760	310,800
事務費等		8,509	24,514	26,766	28,131
年度所要額 (A)		101,941	151,354	248,526	338,931
返還額 (B)		16,703	0	0	0
年度当初 貸付原資残額 (C)		182,654	191,625	248,526	338,931
原資積み増し前 年度末貸付原資残額 (D) ※当年度のB+C-A		97,416	40,271	0	0
原資積み増し 必要額 (E) ※当年度のA-B-C+次年度のA (R6は実績値)		94,209	R8事業分 208,255	R9事業分 338,931	R10事業分 407,496
原資積み増し後 年度末貸付原資残額 (F) ※当年度のD+E		191,625	248,526	338,931	407,496

貸付決定は6月に行うため、令和8年度事業分(208,255千円)を令和7年度中または令和8年度の早期に積み増す必要がある。さらに、令和9年度事業分(338,931千円)も令和9年度当初に原資が確保されていなければならないため、令和8年度中または令和9年度の早期に積み増す必要がある。

国にお願いすること

介護福祉士修学資金等貸付事業において、急増する需要の中でも継続的・安定的に事業が実施できるよう、引き続き**貸付原資の積み増しに必要な生活困窮者就労準備支援事業費等補助金の交付**をお願いしたい。

令和8年度事業分：187百万円(208,255千円×国庫負担割合9/10相当額)
→令和7年度中または令和8年度早期

令和9年度事業分：305百万円(338,931千円×国庫負担割合9/10相当額)
→令和8年度中または令和9年度早期

【県担当部局】 福祉保険部 地域包括支援課